

令和6年度「全国学力・学習状況調査」

調査結果の概要及び今後の取組について

みなべ町教育委員会

令和6年4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要及び今後の取組について、お知らせいたします。

この調査は、小学6年生と中学3年生を対象とし、「教科に関する調査」について小学校は国語・算数、中学校は国語・数学を実施し、児童生徒の学習意欲や学習環境等を調査する「質問調査」も併せて実施いたしました。

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的とし、実施したものです。

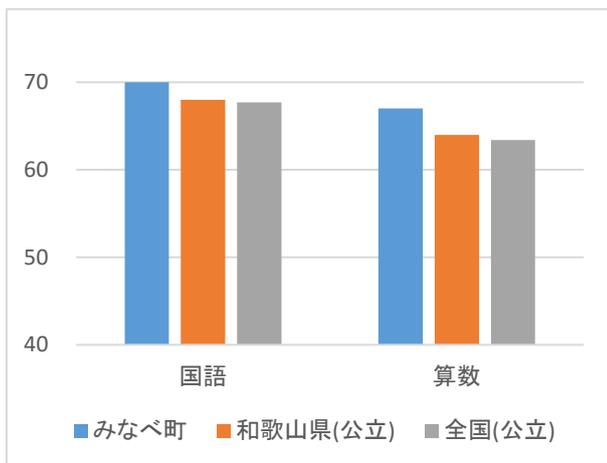
本教育委員会では、町内小中学校全体の調査結果の概要と今後の取組について広く町民の皆様にお知らせし、子どもたちの学力向上・学習環境の改善に向けて、学校・保護者・地域が一体となった取組を進めてまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

1 教科に関する調査結果について

(1)平均正答率(%)

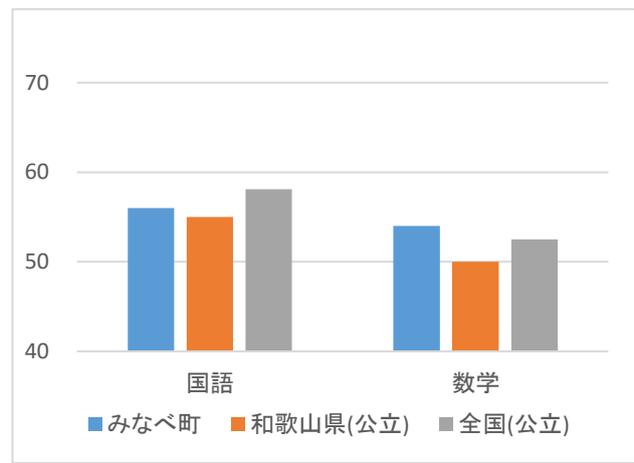
小学校 第6学年

	国語	算数
みなべ町	70	67
和歌山県(公立)	68	64
全国(公立)	67.7	63.4



中学校 第3学年

	国語	数学
みなべ町	56	54
和歌山県(公立)	55	50
全国(公立)	58.1	52.5



今年度は、国語、算数(数学)の調査が行われました。

◇小学校

国語・算数で、全国・県平均を上回る結果となりました。

◇中学校

国語で、県平均を上回り、全国平均を下回る結果となりました。

数学で、全国・県平均を上回る結果となりました。

(2)各教科の学習指導要領の領域別平均正答率

学年	小学校6年生	中学校3年生
教科	国語	国語
学習指導要領の内容		
話すこと・聞くこと	—	▽
書くこと	—	▽
読むこと	—	—
言葉の特徴や使い方に関する事項	◎	—
情報の扱い方に関する事項	—	—
我が国の言語文化に関する事項	◎	◎
教科	算数	数学
学習指導要領の領域		
数と計算/数と式	◎	—
図形	—	—
変化と関係/関数	—	—
データの活用	◎	○

【国語】

◇小学校
「言葉の特徴や使い方に関する事項」において全国を5.6ポイント、「我が国の言語文化に関する事項」において全国を7.8ポイント上回る結果となりました。
◇中学校
「我が国の言語文化に関する事項」において全国を7.7ポイント上回る結果となりました。一方で「話すこと・聞くこと」において全国を3.6ポイント、「書くこと」において3.8ポイント下回る結果となりました。

【算数・数学】

◇小学校
「数と計算」において全国を5.8ポイント、「データの活用」において全国を6.1ポイント上回る結果となりました。
◇中学校
「データの活用」において、全国を4.4ポイント上回り、その他の領域においては、全国と同程度の結果となりました。

- ◎：全国平均に比べ5ポイント以上高い
- ：全国平均に比べ3～5ポイント高い
- ：全国平均との差が3ポイント未満
- ▽：全国平均に比べ3～5ポイント低い
- ▼：全国平均に比べ5ポイント以上低い

(3)教科の概要 ◇よかったところ ◆課題が見られたところ

小学校

国語

- ◇文の中における主語と述語との関係を捉えることができているかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◇話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◆目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられました。
- ◆人物像を具体的に想像することに課題がみられました。

算数

- ◇折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◇除数小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◆球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がみられました。
- ◆道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がみられました。

今後の取組について

- ・文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていけるよう指導を行います。
- ・取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものとなっているかどうかを振り返り、事実と考えをとの関係性を明確にできるよう指導を行います。
- ・身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるための必要な情報を判断できるよう指導を行います。
- ・速さの問題に限らず、結論を支える根拠を、言葉や数を用いて記述できるよう指導を行います。

中学校

国語

- ◇行書の特徴を理解しているかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◇目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができているかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◆表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がみられました。
- ◆目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がみられました。

数学

- ◇簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◇一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる問題がよくできていました。
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がみられました。
- ◆連続する二つの偶数を、文字を用いて式で表すことに課題がみられました。

今後の取組について

- ・自分の考えが伝わる文章になるように、表現の効果を考えて描写を工夫して書けるよう指導を行います。
- ・要約をする際には、目的を明確にした上で、必要な情報を十分に取り上げているか、自分がまとめた内容と元の文章の内容とに隔たりがないかなどを確認しながら、適切さや正確さを意識して要約することができるよう指導を行います。
- ・表や式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらの用い方について数学的に説明できるよう指導を行います。
- ・さまざまな数を文字を用いて式で表すことを通して、文字式で表すことのおよさを実感できるよう指導を行います。

2 質問調査結果について

(全国と比べ特徴的な結果の出ている質問について紹介します。)

(1)「国語の勉強は好きですか」

「あてはまる、どちらかといえばあてはまる」を合わせると、全国平均に比べ、小学校では8.4%下回り、中学校でも7.1%下回っています。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
あてはまる	16.7	24.1	-7.4	27.6	24.4	3.2
どちらかといえばあてはまる	36.9	37.9	-1.0	29.6	39.9	-10.3
計	53.6	62.0	-8.4	57.2	64.3	-7.1

(単位：%)

(2)「算数・数学の勉強は好きですか」

「あてはまる、どちらかといえばあてはまる」を合わせると、全国平均に比べ、小学校では8.6%下回り、中学校でも0.1%下回っています。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
あてはまる	21.4	34.0	-12.6	22.4	29.4	-7.0
どちらかといえばあてはまる	31.0	27.0	4.0	34.7	27.8	6.9
計	52.4	61.0	-8.6	57.1	57.2	-0.1

(単位：%)

(3) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

「3時間以上」については、小学校、中学校ともに全国平均を下回りました。反対に、「全くしない」については、小学校で全国平均を大きく上回り、中学校では全国平均を下回りました。また、小学校では「30分以上、1時間より少ない」児童の割合がもっとも多く、中学校では「1時間以上、2時間より少ない」生徒の割合がもっとも多い結果となりました。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
3時間以上	7.1	11.0	-3.9	5.1	9.2	-4.1
2時間以上、3時間より少ない	10.7	12.5	-1.8	15.3	22.5	-7.2
1時間以上、2時間より少ない	23.8	31.1	-7.3	39.8	32.6	7.2
30分以上、1時間より少ない	28.6	27.0	1.6	26.5	18.4	8.1
30分より少ない	11.9	13.0	-1.1	7.1	10.4	-3.3
全くしない	17.9	5.3	12.6	4.1	6.6	-2.5

(単位: %)

(4) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

「3時間以上」については、小学校、中学校ともに全国平均を下回りました。反対に、「全くしない」については、小学校で全国平均を大きく上回り、中学校では全国平均を下回りました。また、小学校では「30分より少ない」「全くしない」児童の割合がもっとも多く、中学校では「30分以上、1時間より少ない」「30分より少ない」生徒の割合がもっとも多い結果となりました。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
3時間以上	6.0	7.3	-1.3	2.0	5.7	-3.7
2時間以上、3時間より少ない	7.1	4.3	2.8	4.1	9.8	-5.7
1時間以上、2時間より少ない	9.5	9.9	-0.4	12.2	20.7	-8.5
30分以上、1時間より少ない	19.0	27.1	-8.1	34.7	26.8	7.9
30分より少ない	28.6	36.2	-7.6	34.7	23.1	11.6
全くしない	28.6	15.1	13.5	11.2	13.1	-1.9

(単位: %)

(5) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

「できている」「どちらかといえば、できている」を合わせると、全国平均に比べ、小学校では5.6%下回り、中学校でも2.0%下回っています。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
できている	29.8	30.3	-0.5	23.5	28.2	-4.7
どちらかといえば、できている	45.2	50.4	-5.2	53.1	50.4	2.7
計	75.0	80.7	-5.7	76.6	78.6	-2.0

(単位: %)

(6)携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

小学校、中学校ともに「きちんと守っている」「だいたい守っている」児童・生徒の割合は、それぞれ町全体で5割～6割程度でした。しかし、一方で「守っていない」児童・生徒が、それぞれ町全体の2%程度であることも分かりました。また、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない」と回答した児童・生徒が、それぞれ町全体の2割程度でした。

	小学校			中学校		
	みなべ町	全国	差異	みなべ町	全国	差異
きちんと守っている	26.2	39.4	-13.2	30.6	34.0	-3.4
だいたい守っている	25.0	31.7	-6.7	34.7	38.2	-3.5
あまり守っていない	4.8	4.5	0.3	3.1	5.6	-2.5
守っていない	2.4	0.9	1.5	2.0	1.3	0.7
携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない	23.8	9.8	14.0	24.5	16.8	7.7
携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない	17.9	13.7	4.2	5.1	3.2	1.9

(単位:%)

みなべ町の学力状況は、小学校では国語・算数ともに全国平均を上回りましたが、中学校では課題がみられた教科もありました。各学校において、本調査結果を分析し、子どもたちが課題を克服できるよう、またさらに力を伸ばしていけるよう、授業研究・授業改善により一層取り組んでいきます。その中で、個別最適な学びの実現に向けて、一人一台端末を活用させたり子どもたちが主体的に学習する機会を設けたりするなどの取組も推進させていきます。

また、今年度の本町の教育目標は『「未来」を創造するたくましい子どもの育成』です。子どもたちの成長の基盤となる資質・能力は様々で、学力に加え、コミュニケーション能力・情報モラル・道徳性・人間性等、いろいろとあります。本町の教育目標を達成できるよう、子どもたちが多様性を認め合ったり、学校生活や地域社会の中で得た経験や知識等を活かしたりしながら、成長の基盤となる資質・能力を身につけられるよう学校教育の充実を図っていきます。そして、未来の自分の姿を描き、そこに向かってたくましく成長できるように、一人ひとりが輝く学校づくりを進めてまいります。